

浅水管理で分けつを促進し、初期生育量を確保！

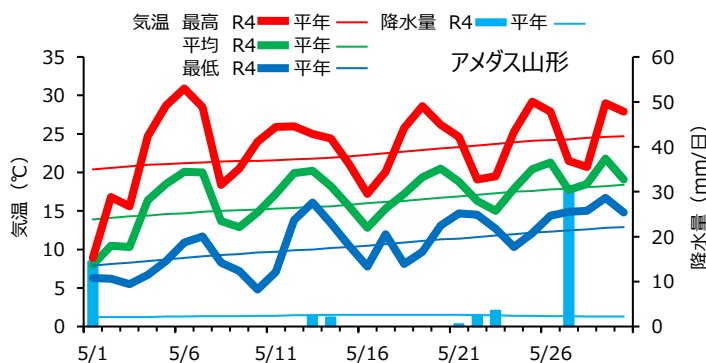
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

【気象・生育概況】

5月の平均気温は平年並みから高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年並みから多くなりました。

田植え作業は順調に進み、盛期は、平年より1日早くなりました。活着は概ね良好です。

5月31日現在の生育は、平坦部「はえぬき」で、草丈は平年よりやや短く、茎数は平年より多く、葉数は平年並みとなっています。



田植え作業進捗

地域	田植盛期	平年差
内陸	5月21日	-1
庄内	5月12日	-2

平坦部「はえぬき」の生育（5月31日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈	21.0 cm	21.6 cm	97 やや短い
茎数	132 本/m ²	117 本/m ²	113 多い
葉数	4.8 枚	4.6 枚	0.2 平年並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎当面の技術対策

5月31日発表の2週間気温予報によると、6月10日までは気温の低い日が続く見込みです。また、曇天、または、降雨の日が多くなる予報となっています。

6月上旬は初期生育量を確保するための重要な時期です！特に、「雪若丸」はこの時期の茎数が収量に大きく影響します。本年も高品質で美味しい米を生産するため、以下のポイントに留意し、きめ細かな栽培管理を行きましょう。

(1) 浅水管理で分けつ促進 ～土壌の異常還元（ワキ）や表層剥離は今すぐ対処～

活着後は2～3cmの浅水管理が基本です。日中止水、夜間かんがいを徹底して水温・地温の上昇を図り、分けつを促進しましょう。ただし、低温や強風が予想される場合は、深水で稲体を保護します。

すでに土壌の異常還元（ワキ）や表層剥離が散見されています。表層剥離が見られたり、土壌の還元が進んで、ほ場に足を踏み入れると気泡が多く発生する場合は、速やかに水交換を行います。ワキの程度が強い場合は、田干しや夜間落水を行い、根圏環境の改善を図って分けつの発生を促し、初期生育量を確保しましょう。

(2) 雑草防除 ～残草対策も遅れずに～

除草剤の処理後も本田内に残草が見られる場合は、県除草剤使用基準等を参考にしながら、雑草の種類や葉数に応じた剤を選択し、登録を確認したうえで処理しましょう。

(3) 病害虫防除 ～カメムシ類の生息密度低減、取り置き苗の処分～

病害虫防除所の調査では、斑点米カメムシ類の発生は平年と比べて「やや多い」状況です。日頃から畦畔や農道等の除草を徹底し、斑点米カメムシ類の生息密度の低減に努めましょう。

また、水田に放置された取り置き苗は、葉いもちの伝染源になります。ほ場の見回りを行い、取り置き苗は直ちに処分しましょう。

(4) 直播栽培 ～苗立数の確認と適正な水管理～

播種後の好天で、直播栽培の苗立ちは全般的に良好となっています。

湛水直播栽培の適正な苗立数は80～120本/m²です。苗立数を確認し、120本/m²以上である場合は生育過剰が懸念されるので、深水管理で茎数を抑制します。

不耕起V溝乾田直播栽培や乾田直播栽培では、稲が2葉期になる6月上旬頃が入水時期の目安です。入水3～5日後、湛水状態が落ち着いたら一発処理除草剤を散布します。

つや姫 の生育と技術対策

「つや姫」は、適期内に田植えが行われました。現在の生育は、草丈は平年よりやや短く、茎数は平年並み、葉数は平年並みとなっています。

ほ場の見回りをこまめに行って、ほ場ごとにきめ細かに管理します。初期生育量をしっかりと確保するため、浅水管理を行って分けつを促進しましょう。

「つや姫」の生育（5月31日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈	22.2 cm	23.1 cm	96 やや短い
茎数	112 本/m ²	114 本/m ²	98 平年並み
葉数	4.4 枚	4.6 枚	-0.2 平年並み

6月10日生育指標

内陸	庄内
30.0	27.0
220	250
6.6	6.7

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

STOP!農作業事故 農作業事故防止運動春季強化期間(4/10～6/10)

農作業事故（重大事故）の発生件数が、例年よりも多くなっています。

農作業事故防止のための基本的な対策を再度確認し、徹底しましょう！

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！